

2007年1月31日
東京ガス株式会社

2006年度第3四半期決算説明会 主なQ&A

Q: 今年は昨年に比べて暖かいようだが、天候デリバティブでは受取りになるのか支払いになるのか？

A: 当社では、一般的に冬期に気温が高くなるとガス販売量が減る方向にあるため、気温影響による収支の変動を抑える目的で天候デリバティブ契約を導入しております。今年度の第3四半期(2006年4月～12月)は、下期に入って気温が高めに推移しましたが、上期に気温が低めに推移したため、ガス販売量・ガス売上高ともに増加しており、そのヘッジとしての天候デリバティブは約9億円の支払いとなりました。さらに暖冬となった場合は、受取り額が増え、支払いを上回る可能性もあります。

Q: 工業用のガス販売量見通しが計画を上回っているようだが、好調な要因は何か？

A: 環境にやさしい天然ガスコージェネレーション設備の採用や石油系の燃料をお使いのお客さまからの天然ガスへの転換が多いことに加えて、既存のお客さまによる稼働増も工業用のガス販売量の伸びが計画を上回っている大きな要因です。